

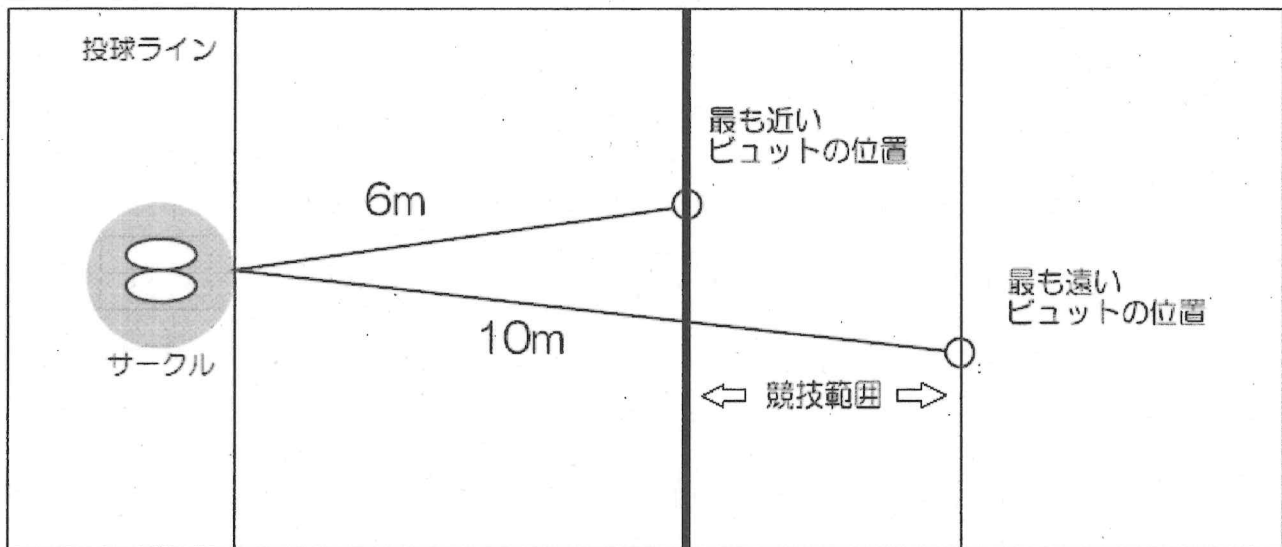
【室内ペタンク】 説明用

1. ルール	ルールは、公式の室内ペタンクのルールを元に阿知須オリンピック用に変更したローカルルールにて運用しています。
2. チーム編成	・ 1 チーム 3 名で構成します。 ・ 3 名以上の選手のいるチームの選手の交代は自由ですが、試合中の交代はできません。
3. コート	・ コートの広さは 4 m × 1 5 m とします。青いラインテープが基準になります。 ・ 投球ラインから 6 m の位置のラインは、標的玉（ビュット）の有効ラインです。
4. 審判	相互審判とし、審判、得点を各 1 名とします。
5. 競技方法	① 予選リーグ戦、決勝リーグ戦を行います。 ② <u>9 点以上先取</u>又は、<u>4 メーヌ（セット）</u>までに得点の多いチームの勝ちとします。同点の場合は延長せず、引き分けとします。 ③ 最初のビュット（標的玉）を投げる権利は、ジャンケンで決め、試合もそのチームの先攻で行います。以降は、メーヌで勝ったチームが次のメーヌの先攻となり、ビュットを先に投げる権利も得ます。 ④ 先攻チームは、投球ラインの手前にゴム製のサークルを置き、全ての投球はその中から行います。<u>次のメーヌ以降の投球も同様です。</u> ⑤ ビュットは、必ず有効ラインを越え、投球ラインから概ね 6 m から 1 0 m の枠内に止まるように投げてください。なお、<u>1 投して</u>枠内に止まらない場合は、相手チームにビュットを投げる権利が移ります。 ⑥ 双方 1 投して枠内に止まらなければ、審判が 1 投目が出た位置から内側 2 m 程度の位置に置きます。 ⑦ ボールは 1 チーム 6 個で、一人 2 個投球します。 ⑧ ビュットの位置が決まったら、先行チームが一投目のボールを投げます ⑨ 続いて、後攻チームが投球しますが、先攻チームの一投目よりビュットの近くになるまで投球し続けます。投球順は自由で、連続して投球しても構いません。 ⑩ ボールの真上から見て、コートの線よりボールが一部でも外側に出たらアウトとします。 ⑪ 投球の際はサークルを踏んだり、ボールが地面に落ちる前に足を上げてはいけません。 ⑫ 以降は、常にビュットに遠いボールのチームが投球し、全て投球した時点で、最もビュットに近いボール（ベストボール）のチームがそのメーヌの勝ちとなります。 ⑬ 勝ったチームは、相手チームのベストボールより標的球に近いボール全てが得点となります。一方のチームは必ず 0 点となります。 ⑭ 一方のチームが持ちボールすべて投げ終わり、相手チームのベストボールを上回ることができなかった場合は、その時点でセットの勝敗は決まりますが、相手チ

ームは更に得点を稼ぐために、残りのボールすべてを投げます。

⑮ ビュットやボールを弾いて動かすことも可能です。

コート図



取り決め事項

- ・ 予選リーグ戦での順位決定方法は、①勝敗そして、勝ち負け同数となった場合は、②得失セットによることとします。さらに同数の場合は直接対決の結果により順位を決定します。
- ・ 全種目 3 位決定戦は行わないものとします。
- ・ 各種目競技中、疑義が生じた場合は各会場本部の競技種目責任者が決定する。
- ・ 地区在住でない者（混成チームを除く）、または二種目以上の出場といった不正が判明した場合は、そのチームの負けとします。
- ・ 雨天中止となった種目に登録していた場合は、他の種目に出場可能です。
- ・ この大会は、地域の方同士の親睦を主目的としています。今回初めて出場されたり、経験が少ない方も多くおられますので、競技の基本的なルールはベースとしてありますが、初心者の方に合わせた競技進行になりますことをご理解ください。
- ・ 今回も審判は相互審判をお願いしています。前記と同様に初心者の方が審判をされる場合がありますので、ジャッジに対して強く抗議されることのないようお願いいたします。